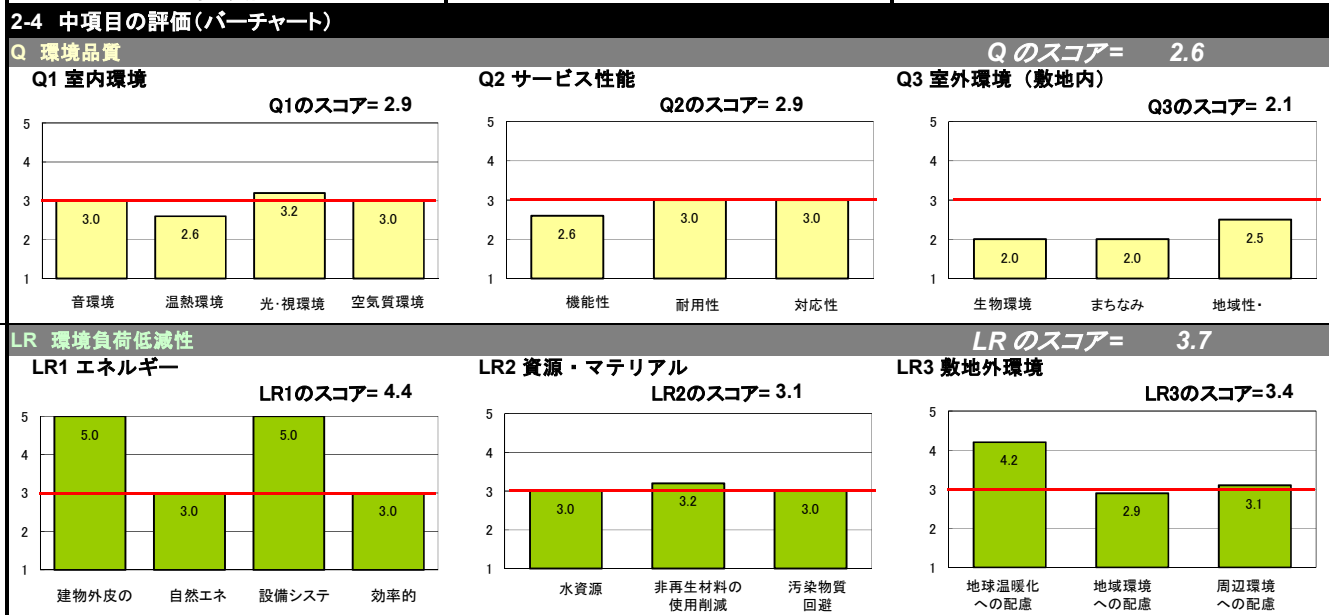
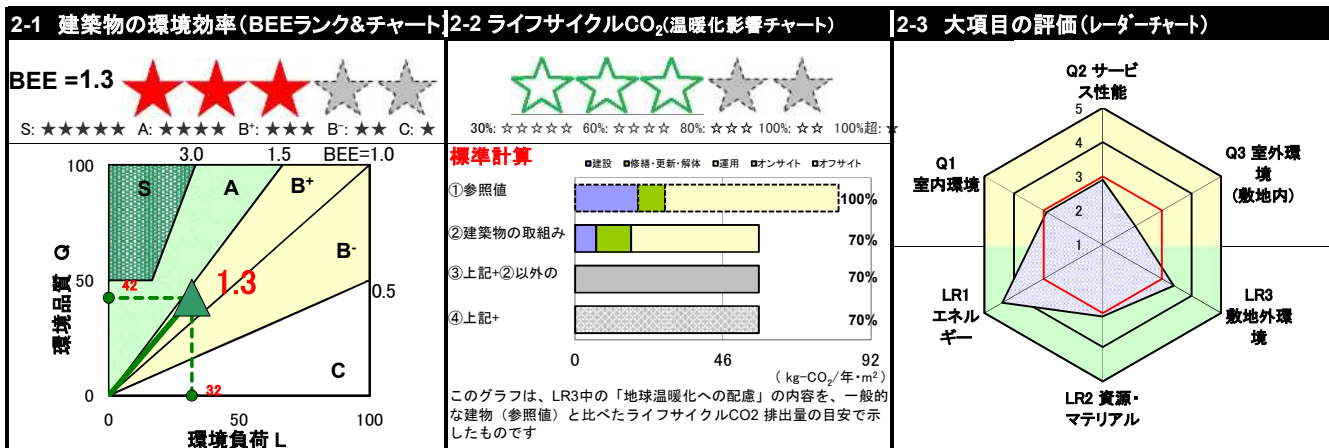


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 23013

建築物名称	Brillia新百合ヶ丘
建築主	東京建物株式会社 執行役員 住宅事業第二部長 佐林 繁
建築物の所在地	川崎市麻生区東百合丘4丁目17番2の一部
設計者氏名、建築士事務所名	木林 昭生 飛島建設株式会社 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	6,730.14㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上6階
工事完了予定年月	令和7年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Brillia新百合ヶ丘	階数	地上6F
建設地	川崎市麻生区東百合丘4丁目17番2の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	320人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2023年7月7日
敷地面積	2,930 m ²	作成者	飛鳥建設株式会社 木林 昭生
建築面積	1,579 m ²	確認日	2023年7月7日
延床面積	6,730 m ²	確認者	飛鳥建設株式会社 木林 昭生



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合	1.9/4.3	2.2
2 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.4
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	住:断熱等性能等級5相当	2.8/3.5	4.0
3 3.1 3.1.3 屋光利用設備			
3.2 3.2.1 屋光制御	住:カーテンと庇の2種類を組み合わせでグレアを抑制		
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合	1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級5相当	4.4/5.0	4.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	LED照明の採用		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.9/4.7	3.1
2 非再生性資源の使用量削減			
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.4
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3	0.3/0.5	3.5
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.5/4.0	3.2
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	3.0
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.2
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合	1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級5相当	4.4/5.0	4.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	LED照明の採用		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.2**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級5相当	4.4/5.0	4.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	LED照明の採用		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		基本設計段階				環境配慮設計の概要記入欄					全体
配慮項目	重点項目	G	W	R	H	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
											評価点
Q 建築物の環境品質											2.6
Q1 室内環境											2.9
1 音環境											3.0
1.1 室内騒音レベル											3.0
1.2 遮音											3.0
1 開口部遮音性能											3.0
2 界壁遮音性能											3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											3.0
1.3 吸音											-
2 温熱環境											2.6
2.1 室温制御											2.2
1 室温											3.0
2 外皮性能											1.0
3 ゾーン別制御性											-
2.2 湿度制御											3.0
2.3 空調方式											1.0
3 光・視環境											3.2
3.1 昼光利用											4.2
1 昼光率											5.0
2 方位別開口											-
3 昼光利用設備											3.0
3.2 グレア対策											3.0
1 昼光制御											3.0
3.3 照度											3.0
3.4 照明制御											3.0
4 空気質環境											3.0
4.1 発生源対策											3.0
1 化学汚染物質											3.0
4.2 換気											3.0
1 換気量											3.0
2 自然換気性能											3.0
3 取り入れ外気への配慮											3.0
4.3 運用管理											-
1 CO ₂ の監視											-
2 喫煙の制御											-
Q2 サービス性能											2.9
1 機能性											2.6
1.1 機能性・使いやすさ											3.0
1 広さ・収納性											-
2 高度情報通信設備対応											3.0
3 バリアフリー計画											3.0
1.2 心理性・快適性											3.0
1 広さ感・景観											-
2 リフレッシュスペース											-
3 内装計画											3.0
1.3 維持管理											3.0
1 維持管理に配慮した設計											3.0
2 維持管理用機能の確保											3.0
2 耐用性・信頼性											3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振											3.0
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											3.0
2 免震・制震・制振性能											3.0
2.2 部品・部材の耐用年数											3.5
1 躯体材料の耐用年数											5.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											4.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											5.0
6 主要設備機器の更新必要間隔											2.0
2.4 信頼性											2.6
1 空調・換気設備											3.0
2 給排水・衛生設備											2.0
3 電気設備											3.0
4 機械・配管支持方法											3.0
5 通信・情報設備											2.0

3	対応性・更新性								3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり								-	-	3.2	0.50	
	1 階高のゆとり						階高2.9m以上		-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ						-		-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり						-		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性								3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性						-		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性						-		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性						-		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性						-		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性						-		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保						-		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)								-	0.30	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出	G	W			H	-		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	G					-		2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮						-		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上						-		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	G	W			H	-		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性								-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー								-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		W			H	断熱等性能等級5相当		5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		W			H	-		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		W			H	BEI=0.80		5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用								3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		W			H	-		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		W			H	-		-	-	-	-	
	集合住宅の評価								3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		W			H	-		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		W			H	-		3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル								-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		W			R			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水						-		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用						-		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無						-		3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無						-		-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減								3.2	0.60	-	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減		W			R	-		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		W			R	-		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			R	-		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			R	断熱材		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		W			R	-		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W			R	住:内装がLGS工法で分別が容易		5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用						-		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避						-		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		W				-		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		W				-		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		W				-		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境								-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮		W				LCCO2排出率 70%		4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮								2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止						-		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	G	W			H	-		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制						-		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減					R	-		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制					R	-		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制					R	-		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制					R	-		2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮								3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
	1 騒音						-		3.0	1.00	-	-	
	2 振動						-		-	-	-	-	
	3 悪臭						-		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制								3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制						-		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制						-		-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制						-		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制								3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						広告物照明無し		4.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						-		3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0	-	-	1.0	1.0	2.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	-	-	1.0	3.0	-	-	2.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 昼光率	昼光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口率 3.3%
Q2 サービス性能	
1.1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 6.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 15.0㎡ ツイン 22.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 30.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.5 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 0 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 46% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 46% 水平投影面積率 13% 地表面対策面積率 28% 舗装面積率 0%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 昇熱等性能等級 等級4を超える 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 0.80 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品E - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 5.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(CFC) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(CFC) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(CFC) 0 地球温暖化係数(GWP) 8
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 189% 棟間隔指標Rw 0.38 地表面対策面積率 48.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 646㎡ 越風向と直交する最大敷地幅Ws 39.8 m 基準高さHb 8.54 m 緑地 233㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡

23013

Brillia新百合ヶ丘

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。